

世田谷区立三宿小学校
校長 村田 奈緒美

世田谷区立三宿小学校
学校関係者評価委員会
委員長 伊藤 一弥

令和7年度 学校関係者評価委員会報告書

令和7年10月に実施された「学校関係者アンケート」の分析と評価結果がまとまりましたので、ここにご報告いたします。

調査方法は全児童・保護者・地域を対象に、アンケート方式で行い、兄弟が在籍している保護者にもそれぞれの学年での提出をお願いしました。また、アンケート結果の検討にあたり、本委員会では各項目について、選択肢「A：とても思う」と選択肢「B：思う」を合わせて集計し、80パーセント以上となった項目については、『概ねよい（一定の成果を得た肯定的意見）』という判断をしました。

【アンケート配布数と回収率について】

	令和6年度			令和7年度		
	保護者	地域	児童	保護者	地域	児童
配布数	265	30	236	267	30	1-4年 159 5-6年 80 計 239
回収数	164	18	231	169	17	1-4年 150 5-6年 71 計 221
回収率	61.8%	60%	98%	63%	57%	1-4年 94% 5-6年 89% 計 92%

【アンケートについて】

- ※1 アンケート集計表の、A+B（とても思う+思う）、C+D（あまり思わない+思わない）、E（分からない）で、%表示で記載してあります。また、数値は小数点以下を四捨五入してあります。
- ※2 1年生から4年生の児童アンケートと、5年生から6年生の児童アンケートでは、学齢に合わせて一部質問内容に違いがあります。学年によって内容が違うものについては、対象学年を表示しています。

1 項目別評価結果 (括弧内の数値は、昨年度。数値の単位は%)

<学習指導について(児童・保護者)>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
先生は、課題(めあて)について、自分が考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中でとっている。	93(95)	4(4)	3(1)
先生は黒板の書き方やワークシートなどを工夫している。	93(90)	5(9)	2(1)
授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	93(92)	6(7)	1(1)
先生は、テレビやタブレットを使って、分かりやすく授業をしている。	96(90)	2(7)	2(3)
学ぶことが楽しい。(今年度からの設問)	87	11	2

○ 先生方の授業の取り組みが上々な結果として表れている。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
子どもが考えることや、課題を解決することを大切に授業を行っている。	82(83)	9(9)	9(8)
黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	75(68)	14(17)	11(15)
子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	84(85)	9(7)	7(8)
映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	86(79)	8(13)	6(8)

○ 学校公開での授業を参観した際、タブレットを活用した授業の工夫が見られた。

<生活指導について(児童・保護者・地域)>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
私は、学校のきまりを守って、行動している。	88(88)	9(11)	3(1)
学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	90(92)	8(7)	2(1)
先生に注意されたことは、理解できる。	93(97)	2(2)	5(1)

○ 良好な結果だと考える。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	82(80)	11(10)	7(10)

教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子供が理解している。	89(79)	7(12)	4(9)
-----------------------------------	--------	-------	------

○ 学校の生活指導の取り組みが、丁寧に行われている結果だと考える。

<学校行事について（児童・保護者・地域）>

児童アンケート集計	A + B	C + D	E
学校行事は、楽しい。	95(91)	4(8)	1(1)
学校行事は、達成感がある。	89(90)	8(9)	3(1)
先生は、児童のやる気やがんばろうとする気持ちを大切にしている。	93(95)	3(2)	4(3)

○ 学校や教職員の計画的な取り組みの結果だと考える。

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
学校行事は、子どもにとって楽しい。	92(94)	7(5)	1(1)
学校行事は、子どもにとって達成感がある。	94(93)	4(6)	2(1)
本校は、子どもの意欲を大切にしている。	88(88)	5(7)	7(5)

○ どの項目も9割から8割を達成しており、保護者の満足度がうかがえる。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
学校行事の内容は充実している。	88(83)	0(6)	12(11)
事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある。	82(80)	6(7)	12(13)

○ 良好な結果だと考える。

<キャリア教育について（児童・保護者）>

児童アンケート集計	A + B	C + D	E
1-4年 自分の好きなことやがんばったことについて、考える授業がある。	92(87)	3(10)	5(3)
5-6年 自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。（今年度からの設問）	83	11	6
1-4年 目標をもち、努力している。（今年度からの設問）	88	7	5

5-6年	目標をもち、その実現に向けて努力している。 (今年度からの設問)	79	17	4
1-4年	私は、係や当番の仕事を努力している。	89(91)	7(8)	4(1)
5-6年	中学校に関する情報が提供されている。	63(57)	23(20)	14(23)

○ キャリア教育について、指導の成果が表れている。今後も継続していただきたい。

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	71(60)	18(23)	11(17)
子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	59(49)	25(23)	16(28)

○ キャリア教育について、理解が深まり始めている。

<学校運営について（保護者・地域）>

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	82(78)	11(10)	7(12)
校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	91(86)	5(5)	4(9)

○ 良好な結果だと考える。校長・教職員の普段の教育活動の取り組みが評価されている。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
学校の重点目標が明確である。	76(74)	6(13)	18(13)
地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	82(60)	6(13)	12(27)

○ コロナ禍も去り、地域との関わりにおいて少しずつ改善の兆しが見える。

<教職員について（児童・保護者）>

児童アンケート集計	A + B	C + D	E
先生たちは、ていねいに指導してくれる。	97(98)	2(1)	1(1)
先生たちに相談できる。	81(82)	14(14)	5(4)

○ 良好な結果だと考える。

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
------------	-------	-------	---

本校の教員は、丁寧に指導している。	91(87)	8(7)	1(6)
本校は、子どものことを相談しやすい。	87(81)	11(12)	2(7)

良好な結果だと考える。

<学校からの情報提供について（保護者・地域）>

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校は、様々な便り（すぐーるでの配信、ホームページを含む）などで、保護者に情報を提供している。	95(90)	4(9)	1(1)
「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。	59(45)	24(32)	17(23)
学校公開や保護者会などで児童の様子が分かる。	94(92)	5(5)	1(3)

学校からのお便りや「学び舎」についての情報提供、学校公開の充実がうかがえる。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子がわかる。	88(93)	6(0)	6(7)
学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	76(73)	0(0)	24(27)

順当な結果である。

<家庭と学校との連携について（保護者）>

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
私は、学校公開に進んで参加している。	86(93)	12(7)	2(0)
私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などにすすんで協力している。	67(76)	28(23)	5(2)

学校公開や行事の時期や内容について、PTA とのリレーションを高める必要がある。

<地域との連携について（保護者・地域）>

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校は、地域の人や施設を教育活動に活かしている。	79(70)	8(14)	12(17)
本校は、地域に情報を提供している。	76(60)	8(9)	16(31)

順当な結果である。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
-----------	-------	-------	---

地域の人や施設を教育活動に活かしている。	70(67)	12(13)	18(20)
学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	35(53)	18(13)	47(33)

- 学校運営委員会の議事録をホームページに掲載するなどにより地域への学校の活動に対する周知を高め、地域人材や施設の活用を高めていくことが望ましい。

<学校の安全性について（保護者・地域）>

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校は、安全な学校づくりを進めている。	86(81)	9(14)	5(6)
本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	95(98)	2(1)	3(2)
本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	90(84)	5(7)	5(9)

- 良好な結果だと考える。

地域アンケート集計	A+B	C+D	E
学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	82(87)	0(0)	18(13)
学校は、安全性を高めようと、地域と協力している。	70(67)	6(13)	24(20)

- 順当な結果である。

<学校全般について（児童・保護者）>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
学校生活は楽しい。	90(88)	8(10)	2(2)
学校が好き。	89(85)	9(13)	2(2)
1-4年 私は、家庭で宿題をしている。（今年度からの設問）	85	12	3
5-6年 私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。	79(80)	18(13)	3(7)
5-6年 学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	67(50)	23(35)	10(15)

- 児童の学校や教職員への評価は、良好である。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E

本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	92(88)	6(10)	2(3)
子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	50(59)	46(42)	4(0)
近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	75(59)	13(18)	12(23)
本校の教育活動に満足している。	90(81)	8(15)	2(4)
子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	83(73)	14(23)	3(4)

○ 保護者の学校に向けての評価は良好と考える。

<独自項目について（児童・保護者・地域）>

児童アンケート集計	A + B	C + D	E
わたしは、自分から進んで学習に取り組んでいる。（ノートをきちんと書く、先生の話聞く、自分の考えをもつ・書く・伝える）	89(85)	9(12)	2(3)
わたしは、自分から進んであいさつをしている。	88(90)	6(9)	6(1)
わたしは、友達に親切にしている。	87(90)	6(9)	7(1)
わたしには、よいところがある。	77(70)	15(24)	8(6)
わたしは、休み時間や下校後に進んで体を動かしている。	71(78)	22(20)	7(2)
わたしは、早寝・早起きをしている。	59(62)	36(33)	5(5)
わたしは、しっかり朝ごはんを食べている。	85(84)	14(14)	1(2)
わたしは、時間を守って生活している。	82(84)	15(14)	3(2)

○ 各項目順当な結果である。日々の指導が結果として表れ自己肯定感が高まりつつある。

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
子どもたちは、元気にあいさつしている。	87(84)	11(12)	2(4)

○ 順当な結果である。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
本校の子どもたちは、元気にあいさつをしている。	71(73)	0(13)	29(13)
本校の子どもたちは、交通ルールを守っている。	76(80)	0(0)	24(20)

○ 順当な結果であるが、今後も継続して地域とのつながりを大切にしていきたい。

2 まとめ

今年度における教育活動では、全てにおいて予定通り実施できたと聞いている。運動会や展覧会、学校公開においては、保護者や地域の方々に学校便りやプログラムが送付され、大勢の方々に来校いただいた模様である。子どもたちの成長しゆく姿や活躍する場面を参観いただいたことが、今回の保護者や地域アンケートの結果に結びついたと考える。また、宿泊学習や社会科見学等では、安全かつ充実した校外での体験学習が実施できたとのことである。普段の校内での教育活動においても、学校・教職員の指導の充実が、児童アンケートの結果につながっていると判断される。「三宿小まつり」や「餅つき大会」においては、PTAやおやじの会が中心となり、大勢の保護者や地域の方々の参加や協力を得ることで、大成功の行事となった。今後も、保護者・地域・学校が連携を深め、よりよい充実した学校運営につなげていっていただきたい。

今年度の保護者アンケートにおいても、協力依頼を複数回に分けて呼び掛けた結果、61.8%から63%まで回収率を伸ばすことができた。保護者の学校に向けた意識の高まりが推察され、アンケートの協力に感謝したい。

アンケートの内容は、新しい設問を5問設けているが、昨年度とほぼ同一である。また今年度においても自由意見欄を設け、幅広いご意見をいただいた。多くは学校や教職員へ感謝の気持ちの表明であったが、同時に時程や教育施設・環境、学級の実態や指導法等について様々なご意見があり、一つ一つ学校側と状況確認を行った。学校評価委員会として、いただいたご意見の中で妥当と判断できるものは、学校に工夫改善を求めていく。

学校評価委員会がアンケート項目で着目した項目は、児童アンケートにおける「学習指導について」の設問と、「学校行事について」の質問である。どの項目も肯定的解答が多く、良好な結果が出ている。教職員の学習指導に対する指導力向上と、学校行事に向けた工夫や改善の結果だと考える。

一方で、保護者アンケートにおける「家庭と学校の連携について」では、昨年度より肯定的解答が下回る設問も見受けられた。今後も、学校行事等を通じて、学校・保護者・地域がより一層リレーションを高めていけるよう期待したい。

学校・保護者・地域が三位一体となり、三宿小学校の教育活動がより充実することで、子どもたちの学習面や生活面での向上が、更に期待できると考える。

今回のアンケート結果をご覧いただき、これからも、学校・地域・保護者の皆様がそれぞれの立場で、できるところから、子どもたちにどのような支援ができるか考えていただけると幸いである。

令和7年度		自己評価(全方位的な点検・評価)									
		世田谷区立三宿小学校		A	B	C	D				
				達成している	ほぼ達成している	あまり達成していない	達成していない	実質的評価	否定的評価	記述(改善案)	
I 学校経営方針について ①「探究的な学び」											
1		ねらいを明確にした授業を行っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	1		
2		主体的・対話的な深い学びを目指し、自力解決・集団解決などを充実させた1時間の授業の流れを作っている。	7	9	0	0	100.0%	0.0%	2		
②「キャリア教育の推進」											
3		キャリアパスポートを効果的に活用し、自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択し、望ましい勤労観、職業観を身に付けられるように指導している。	2	13	1	0	93.8%	6.3%	3	キャリア教育の取り組みを計画的に実施できるように、OJTを活用し指導力を高める。	
③「ICTの活用」											
4		児童の学習意欲や学習効果・効率を高めるためにICT機器、タブレット端末を活用している。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	4		
II 重点目標について (1)やさしい子(自分や友達のよさを認め、お互いを大事にする児童)の育成について											
5		あいさつの大切さを意識させ、教員が率先して明るい挨拶を促している。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	5		
6		学校のきまりや基本的な生活のルールを児童に指導したことで生活規律を守る児童に育ってきている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	6		
7		学校内の生活面でいじめなどの人権的課題が発生したときは課題を素早く把握し、全職員で解決にあたっている。	15	1	0	0	100.0%	0.0%	7		
(2)がんばる子(試行錯誤を繰り返しながらも、粘り強く取り組む児童)の育成について											
8		体育の学習や休み時間の校庭遊びを充実させ、体を動かす楽しさや目標を達成する喜びを感じさせ、体力向上を進め読書活動を充実させ、非認知能力(本を読み続ける「根気強さ」)と認知能力(語彙力や読解力)を身に付けさせている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	8		
9			6	10	0	0	100.0%	0.0%	9		
(3)よく考える子(課題を発見し、考え、判断して解決する児童)の育成について											
10		子ども同士が共感や協働を基盤とした一人一人の問いの追及の場とした授業を行っている。	6	10	0	0	100.0%	0.0%	10		
11		ペア、グループ、全体の交流活動を充実させ、考えを広げたり深めたりできる、共感や協働を基盤とした授業を行っている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	11		
12		朝学習や朝読書を充実させ、短時間で集中して学習する習慣を身に付けさせている。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	12		
III 地域とともに子どもを育てる教育											
13		家庭教育の充実に向け、必要な情報を提供している。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	13		
14		教職員が教育目標を共通理解し、児童・保護者・地域の方々へ説明している。	6	10	0	0	100.0%	0.0%	14		
15		保護者からの相談に誠実に対応している。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	15		
IV 未来を担う子どもを育てる教育											
16	学習指導	各教科などの年間授業時数の確保をしている。	15	1	0	0	100.0%	0.0%	16		
17		週案を作成・提出し、計画的に授業を進めている。	13	3	0	0	100.0%	0.0%	17		
18		始業終業時刻を守り、時間を大切に授業を行っている。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	18		
19		朝学習を計画的に行っている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	19		
20		少人数指導の成果が上がっている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	20		
21	指導の工夫	教材研究を行い、指導方法の工夫・改善を図っている。	13	3	0	0	100.0%	0.0%	21		
22		個に応じた指導を適切に行っている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	22		
23		体験的・問題解決的な学習を進めている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	23		
24		基礎的・基本的な内容の定着を図っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	24		
25		評価規程を明確にして評価している。	5	11	0	0	100.0%	0.0%	25		
26	教材・教員施設の活用	情報機器を積極的に活用している。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	26		
27		学校図書館を積極的に活用している。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	27		
28	特別活動	集団の一員として、よりよい生活づくりに参画させ、自主的実践的な態度を育てている。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	28		
29		行事の内容、日時、進行は適切に行われている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	29		
30	総合的な学習の時間	年間指導計画に基づき計画的に指導している。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	30		
31		総合的な学習の時間の評価を適切に行っている。	7	9	0	0	100.0%	0.0%	31		
32	学校行事	学校行事の準備や練習を適切に行っている。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	32		
33		学校行事の工夫・改善を図っている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	33		
34	特別支援教育	特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを中心とした支援体制を構築し、特別支援教育を組織的に推進している。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	34		
35		個別指導計画等が作成され活用している。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	35		
36		支援学級との交流の中で相手の立場に立って考える思いやりのある児童が育ってきている。	3	12	1	0	93.8%	6.3%	36	わかば学級との交流をもっと増やし、みんな同じ三宿の子であることを児童らに理解させた。	
37	世田谷イレブン+	泉の学び舎を意識して、幼保小中との連携を深めている。	4	11	1	0	93.8%	6.3%	37	小学校と保育園・幼稚園との交流や、6年生と中学校との交流も、限定的にならないように計画委的に実施する。	
V 信頼と誇りをもてる学校づくり											
38	学校運営 学校経営	校長の経営方針は明確に示している。	13	2	1	0	93.8%	6.3%	38	1学期の経営方針を示す際に、明確に示す。	
39		校長は、リーダーシップを発揮している。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	39		

40		教職員の服務規律への自覚が高く、かつ守られている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	40
41	研究・研修	校内研究が授業力向上、日々の授業改善につながっている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	41
42		世小研等の研修・研修会に積極的に参加している。	9	6	1	0	93.8%	6.3%	42
43	保健管理	日常の健康観察や健康診断等が適切に行っている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	43
44	安全管理	計画的・組織的に安全点検・安全指導を行っている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	44
45	学校運営 学校経営	事故・災害等に迅速に対応できる体制を整備している。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	45
46		通学路の安全点検等は適切に行っている。	7	9	0	0	100.0%	0.0%	46
47		犯罪被害等防止の取り組みは適切に進めている。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	47
48	出納・経理	コスト意識をもち、予算や資源を有効に活用している。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	48
49		私費会計の徴収・会計処理が適正に行っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	49
50	文書 情報管理	学校から発信する文書は、校長（副校長）の決裁を得ている。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	50
51		指導要録等の記入・点検・整理は適切に行っている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	51
52		個人情報 を適切に管理している。	13	3	0	0	100.0%	0.0%	52
VI 教育環境の整備									
53	施設・設備	日常的な施設、設備の点検や管理は適切に行っている。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	53
VII その他									
54	地域運営学校	学校運営委員会の活動が活発に行われている。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	54
55	広報活動 情報提供	教育活動を保護者や地域の方に積極的に公開している。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	55
56		各分掌の取り組み内容や計画が明確で適切に進めている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	56
57		教職員一人一人が主体的、組織的に教育活動を行っている。	10	5	1	0	93.8%	6.3%	57
58	学校評価	学校評価を適切に行っている。	11	4	1	0	93.8%	6.3%	58
									生活 保健 特活 行事 研推 教務
									学年だけでなく、低中高で別れて計画的に教育活動を進める。 改善案を吸い上げて二部会・二委員会で検討する形は効率的で良いが、所属して いない部会・委員会に対しての意見や改善案を直接議論できる場がない。意見や改善案の提案が あった場合、その提案者本人を交えて検討できると良いのではないかと。 委員会：常時活動（行事も含め）のみでなく学校をよりよくする目的意識をもちながら創意 工夫ある活動ができるとよい。 行事終了後に教職員は反省を行い、保護者のアンケート結果を反映させ、改善策を講じている。それ を次年度に引き継ぎ、その年の実態に合わせ立案を行っている。今後も、継続していく。 自分の研究したい教科が選択したため、教師自身の意欲、研究意識の向上にもつながるとともに、 専門性を広げることにつながった。あまり勉強しなかつた教科を選択することで、学習指導要領 から読み始めることになるため、学びがあった。 分掌主任は、意見や改善案を提案した方の意図やねらいを事前に把握しておき、協議する際丁寧に 説明し、協議するようにする。

重点目標1

1 目標

児童の自己肯定感・自己有用感のさらなる向上を目指す。

2 数値による指標

児童アンケートの「わたしには、よいところがある。」の設問で、肯定的回答の割合を80%以上にする。

3 成果と課題

令和6年度の結果は70%、設問の表現を変えたこともあり、令和7年度の結果は7ポイントアップの77%だった。目標達成に及ばなかったが、「自分から進んであいさつをしている」88%や「友達に親切にしている」87%ということに自信をもたせていきながら、令和8年度の教育活動に活かしていく。また、この結果をさらに伸ばせるように、三宿小学校の特色でもある縦割り班活動を重視しながら学校行事の充実を図り、児童が主体的に活動する場面を増やしていく。

重点目標2

1 目標

児童がすすんであいさつできるようにする。

2 数値による指標

保護者アンケートの「本校の子どもたちは、元気にあいさつしている。」の設問で、肯定的回答の割合を90%以上にする。

3 成果と課題

令和6年度の結果は84%、令和7年度の結果は87%だった。目標達成の要因は、学び舎で取り組むあいさつ運動や、代表委員や6年生が中心となり、年間を通して教職員による児童への丁寧な指導の成果が表れている。今後も、自分から進んであいさつができるように、児童への働きかけを工夫し、この習慣が継続できるように指導の充実を図る。

重点目標3

1 目標

キャリア教育の拡充および家庭への周知を行う。

2 数値による指標

保護者アンケートのキャリア教育に関わる項目について、肯定的回答の割合を80%以上にする。

3 成果と課題

令和6年度の結果は60%、令和7年度の結果は71%だった。今後も、キャリア学習を学び進める中で、児童に目標をもたせ、その実現のために支援をすることで見通しをもつことができるように指導の充実を図る。

重点目標 1

1 目標

児童の自己肯定感・自己有用感のさらなる向上を目指す。

2 目標設定の背景と具現化への方策

本校児童の自己肯定感・自己有用感は、令和6年度は70%、令和7年度は77%と2年連続で70%台を示した。前年度と比べ今年度は7ポイント上回り、授業や学級活動・学校行事において、児童が主体的に活動し役割を果たす教育活動が実施できた結果だと考える。また、結果だけでなく過程に注視し、児童の努力や取り組みを教職員や児童同士が賞賛し認めあうことができるように工夫した結果だと考える。

3 数値による指標

今年度の児童アンケートより、「わたしには、いいところがある。」という設問を設け、肯定的回答の割合を80%以上にする。

重点目標 2

1 目標

児童がすすんであいさつできるようにする。

2 目標設定の背景と具現化への方策

校内では、児童を中心とした挨拶運動に取り組み、徐々に成果が表れている。今年度も引き続き重点目標として取り組み、あいさつ運動だけでなく普段から学級でも丁寧な指導を実施し、自分から進んで自然なあいさつができるようにしていく。

3 数値による指標

保護者アンケートの「本校の子どもたちは、元気にあいさつしている。」の設問で、肯定的回答の割合を90%以上にする。

重点目標 3

1 目標

キャリア教育の拡充および家庭への周知を行う。

2 目標設定の背景と具現化への方策

令和7年度保護者アンケートでは、「子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている」の結果は59%だった。令和6年度の49%から10ポイントの伸びが見られた。普段の授業や学校生活の中で、将来の自分のことについて計画的に取り組んでいるが、さらにこの取り組みを保護者に浸透させていく。学習の軌跡をキャリアパスポートで可視化させ、保護者にも確認を願ひ、家庭への周知を行う。

3 数値による指標

保護者アンケートのキャリア教育に関わる項目について、肯定的回答の割合を70%以上にする。